



# 詳細リアルチャート 操作マニュアル

Ver. 1.0.1

2014.5.19

詳細リアルチャートには以下の3つのモードがあります。

## 1. 一般的なテクニカル分析を行う【通常】モード

ここでは6種類のメインチャートに対し、補助チャート（メインチャートと同じエリアに表示されます）として11種類、追加チャート（メインチャートとは別のエリアに表示されます）として16種類のチャート、合計33種類60パターン以上のテクニカルチャートを描画し分析することができます。（詳細についてはチャート一覧をご覧ください。）

## 2. 過去のデータで売買シミュレーションを行う【バックテスト】モード

表示しているチャートに対し、過去のデータで売買シミュレーションを行うモードです。表示しているチャートのどれを使って、どのような条件で売買させるのか、利食いや損切りのタイミングはどうするのかなどを指定して売買シミュレーションを過去データに対し仮想的に実行して、その勝敗や収益率などを計算できます。

一般的なチャートのパターンについては毎日全銘柄のバックテストが実施されていて、そこからパフォーマンスの良かった組み合わせを知ることができます。それらの組み合わせを取得し、それに新たなチャートを追加したり条件を変えてのシミュレーションなどが実施できます。

## 3. 同じ銘柄の過去とも比較できる【対比】モード

他の銘柄や指数と比較する通常の対比チャート機能だけでなく、同じ銘柄の過去の相場との比較や比較対象データの前年同月比を計算してそれとの比較、チャートの開始日とは別に自由に指数化する日付を指定できるなど様々な対比分析が簡単に実行できます。

3つのモードで利用していた状態がチャート情報、比較対象銘柄情報なども含めて1つの情報として保存されています。この情報を5パターンまで保存できます。それらの情報とは別にチャートを適用する銘柄群を別に保存できます。1つのパターン（チャート）に対して瞬時に異なる銘柄を適用したり、同じ銘柄に対して5パターンのチャートを自由に適用したり様々な分析が簡単に実行できます。

その他にも

- チャートの画面配置場所を自由に変更できる
- 思い通りのトレンドラインが簡単に描ける（高値、安値、始値、終値に自動で吸着など）
- 全てのチャートに対して日中足、日足、週足、月足別に自分の好みの初期設定が与えられる
- 株価に影響を与えるニュースを同時に確認できる
- 描画している情報やバックテスト等のシミュレーション結果を全てデータとしてコピーし自由に確認できる

など実践的な機能を数多く搭載しています。

画面はすべてイメージです。

## 2 詳細リアルチャートの起動方法

野村ホームトレードから、詳細リアルチャートを起動するには以下の方法があります。

### 1. 「トップ」画面から起動する(2014年5月19日より)

野村ホームトレードの「トップ」画面にある「よく使われるメニュー」内の「詳細リアルチャート」リンクを押すと、詳細リアルチャートが起動します。



### 2. 「投資情報」画面から起動する(2014年5月19日より)

野村ホームトレード投資情報メニューの「投資情報TOP」画面の「詳細リアルチャート」リンクを押すと、詳細リアルチャートが起動します。



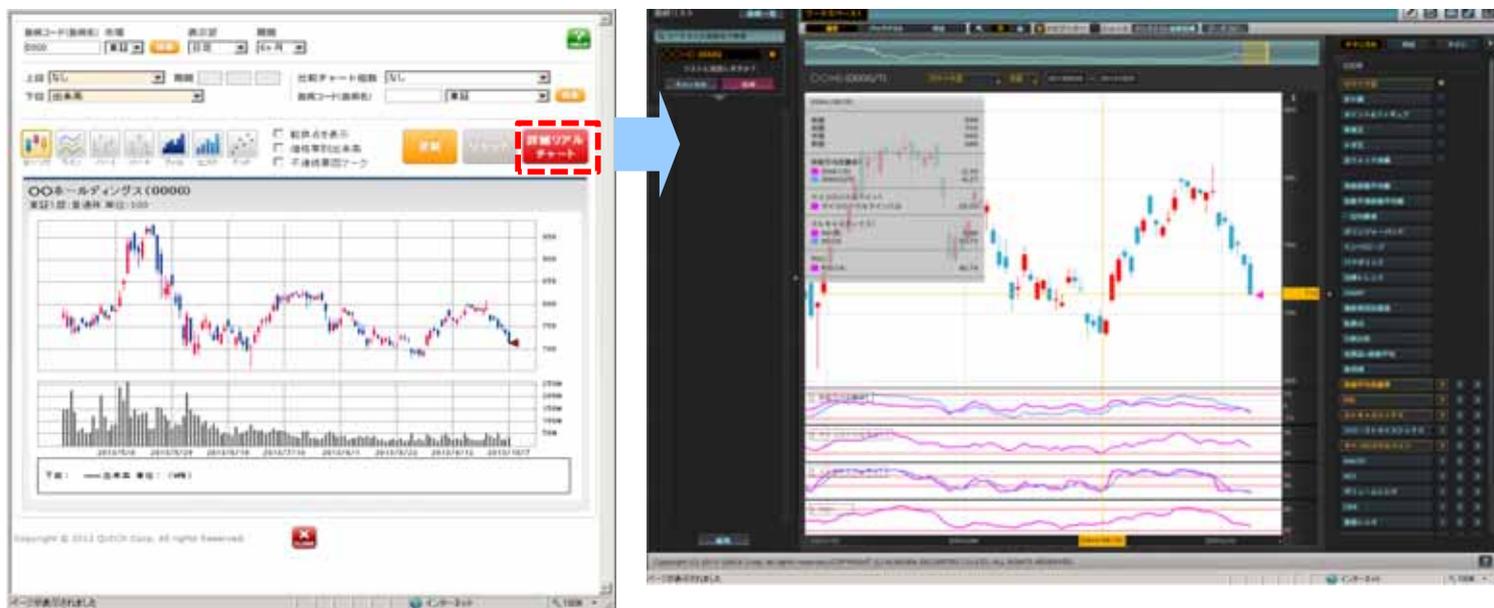
### ・詳細リアルチャートを終了する

詳細リアルチャートは、そのまま画面を閉じて頂くだけで終了できます。ウィンドウ右上の『閉じる』ボタン、ウィンドウタイトルバー上で右クリック等で出現するコンテキストメニューの『閉じる』メニュー等により終了してください。終了の際に保存等の作業は必要ありません。画面を閉じると同時に表示しているチャートの内容、銘柄リストなどが保存され、次回起動時にそのまま前回ご利用時の環境が再現されます。

## 2 詳細リアルチャートの起動方法

### 3. 「テクニカルチャート」から起動する

テクニカルチャートを起動して、チャート内の「詳細リアルチャート」ボタンを押すと個別銘柄を引き継いで、詳細リアルチャートが起動します。



### 4. 「テクニカル分析」画面から起動する

個別銘柄情報画面「テクニカル分析」内の「詳細チャート」ボタンを押すと、個別銘柄のシミュレーション結果（売買条件）を引き継いで、詳細リアルチャート（バックテスト）が起動します。



### ・詳細リアルチャートを終了する

詳細リアルチャートは、そのまま画面を閉じて頂くだけで終了できます。ウィンドウ右上の『閉じる』ボタン、ウィンドウタイトルバー上で右クリック等で出現するコンテキストメニューの『閉じる』メニュー等により終了してください。終了の際に保存等の作業は必要ありません。画面を閉じると同時に表示しているチャートの内容、銘柄リストなどが保存され、次回起動時にそのまま前回ご利用時の環境が再現されます。

表示銘柄名や【通常】【バックテスト】【対比】モードの切り替え、数値読み取りなどの情報ツール、印刷、環境設定、表示データのコピー等を選択するメニューです。また、詳細リアルチャートでは5パターンの設定を保存できます。各パターンはワークスペースと言い、各種チャートの条件、対比チャートの比較対象銘柄、ウィンドウ終了時に表示していた銘柄等が保存されています。このタブで各ワークスペースを切り替えます。

The screenshot displays the main interface of the Nomura HomeTrade software. On the left is the '銘柄リスト' (Stock List) area with a search bar and a list of stocks. The main area shows a 'ナビゲーター' (Navigator) with tabs for '通常' (Normal), 'バックテスト' (Backtest), and '対比' (Comparison). Below this is a '基本情報表示' (Basic Information Display) for 'XXX会社 (XXXX)' with dates '20130615 ~ 20130823'. The central part features a 'メインチャート表示エリア' (Main Chart Display Area) with a candlestick chart and SMA indicators. Below it is an '追加チャート表示エリア' (Additional Chart Display Area) showing a volume chart. On the right is a 'クイック設定エリア' (Quick Setting Area) with various technical indicators like '一目足' (One-look bar), '一目足線' (One-look bar line), 'ポイント&フィギュア' (Point & Figure), 'かざり' (Kazari), '日線トレンド' (Daily trend), 'VWAP', '価格帯別売買高' (Volume by price band), '転換点' (Turning point), '日線分析' (Daily analysis), and '売買高+移動平均' (Volume + Moving average).

**銘柄リストエリア**  
個別銘柄やTOPIX、業種別指数などの表示させる銘柄を登録します。定義されているチャートに対し、素早く銘柄を切り替えることができます。

**メインチャート表示エリア**  
メインチャートおよび補助チャートが描画されます。

**追加チャート表示エリア**  
追加チャートが描画されます。追加チャートの数だけ独立して追加されます。

**クイック設定エリア**  
選択されているワークスペースに描画するチャートやその条件、またバックテストの条件を指定します。その他、トレンドラインツールなどを選択できます。

クイック設定エリアでは選択されているワークスペースに描画するチャートの種別やその条件、またバックテストの条件を指定します。

This close-up screenshot shows the 'クイック設定エリア' (Quick Setting Area) in detail. It includes sections for 'バックテスト条件' (Backtest Conditions) with settings for '買い' (Buy) and '売り' (Sell) at '20' and '10' respectively, and '一目足' (One-look bar) settings for '色' (Color) and '線' (Line). The '一目足線' (One-look bar line) section shows settings for '色' (Color) and '線' (Line) for '買い' (Buy) and '売り' (Sell). The '一目足分析' (One-look bar analysis) section shows settings for '色' (Color) and '線' (Line) for '買い' (Buy) and '売り' (Sell). The '一目足移動平均' (One-look bar moving average) section shows settings for '色' (Color) and '線' (Line) for '買い' (Buy) and '売り' (Sell).

その都度銘柄を検索してテクニカル分析を実施できますが、分析対象銘柄を登録しておくことで定義したチャートに対して素早く分析対象を切り替えることができます。

### 4-1 個別銘柄の登録

銘柄リストエリアに4桁の証券コード、あるいは銘柄名(一部分でも可)を入力することで銘柄を登録できます。上場市場が複数ある場合には全上場市場と優先市場がリストアップされます。優先市場を選択することで、その時点の主要取引市場が自動的に選択されます。複数の銘柄が抽出された場合も同様にリストアップされます。該当する銘柄を選択して下さい。銘柄リストへの登録は次の指標登録も合わせ50銘柄まで保存できます。

The diagram illustrates the process of adding a stock to a list in the Nomura HomeTrade app. It shows the search interface, the search results, the category selection menu, and the confirmation dialog.

**銘柄リスト** (Stock List) interface:

- Search input: **コードまたは銘柄名で検索** (Search by code or stock name)
- Market selection: **01 日経平均** (Nikkei Average)
- Buttons: **指標一覧** (Indicator List), **編集** (Edit)

**4桁コード** (4-digit code) input: **1111**

**銘柄名の一部** (Part of stock name) input: **XXX**

**複数抽出された場合** (When multiple results are extracted):

- Search results: **検索結果 10件** (Search results 10 items), **1 / 1**
- Buttons: **すべての銘柄** (All stocks), **キャンセル** (Cancel)

**複数抽出された場合は業種による選択も可能です。** (When multiple results are extracted, selection by industry is also possible.)

**すべての業種** (All industries) menu:

- 水産・農林業
- 鉱業
- 建設業
- 食料品
- 繊維製品
- パルプ・紙
- 化学
- 医薬品
- 石油石炭製品
- ゴム製品
- ガラス土石製品
- 鉄鋼
- 非鉄金属
- 金属製品
- 機械
- 電気機器
- 輸送用機器
- 精密機器
- その他製品
- 電気・ガス業
- 陸運業
- 海運業
- 空運業
- 倉庫運輸関連
- 情報・通信業
- 卸売業
- 小売業
- 銀行業
- 証券商品先物
- 保険業
- その他金融業
- 不動産業
- サービス業
- その他

**確認ダイアログ** (Confirmation dialog):

- Text: **XXX会社 (XXXX)** (XXX Company (XXXX))
- Text: **リストに追加しますか?** (Add to list?)
- Buttons: **キャンセル** (Cancel), **追加** (Add)

**最終的な銘柄リスト** (Final stock list):

- Search input: **コードまたは銘柄名で検索**
- Market selection: **01 日経平均**, **02 XXX会社 (XXXX) 東**
- Buttons: **指標一覧**

## 4-2 指標の登録

銘柄リストエリアの指標一覧より該当する指標を登録します。



## 4-3 銘柄リストの編集

銘柄リストエリアの『編集』ボタンより、登録銘柄の削除、並び順の変更ができます。並べ替えは名前やコード等以外にも自由にドラッグして任意の並べ替えが可能です。



## 5 ワークスペース(5パターンのチャートを保存)

詳細リアルチャートでは5パターンの状態を保存できます。

各パターンをワークスペースと言います。

ワークスペースは詳細リアルチャートの基本になる機能です。銘柄リスト以外のほとんどの作業は選択されているワークスペースに対して行います。どんなチャートを利用するのか、足種(1分足、5分足、30分足、日足、週足、月足)とその表示期間、各種チャートの条件、対比チャートの比較対象銘柄、ウィンドウ終了時に見ていた銘柄等が保存されています。

ワークスペースは初期の状態では1つしかありませんが、自由に増やしたり減らしたり名前を変えたりできます。また詳細リアルチャートのウィンドウを閉じた時に見ていたワークスペースが、次回起動時にも自動的に選択されます。

ワークスペースと銘柄リストは分離されていて、1つのワークスペースに対して順次銘柄を切り替えたり、同じ銘柄に対して異なるチャートで分析したりすることが簡単にできます。

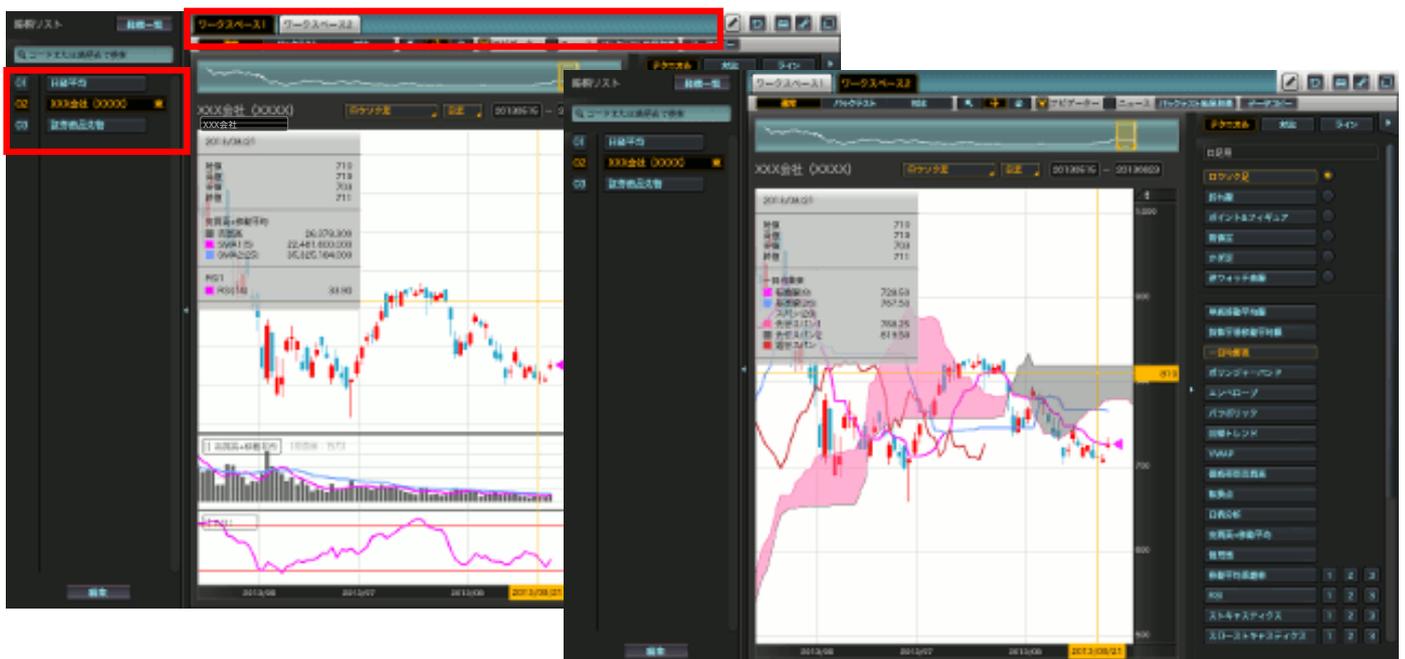
### ワークスペースの編集



ワークスペースは単純に新規作成や削除、あるいは名前を変更できるだけでなく、既存のワークスペースを複製することで、簡単にチャートのセットをコピーし変更することができます。コピー後の情報は各ワークスペースで独立しているため、表示するチャートを変更したり、選択されているチャートの条件を変えても他のワークスペースの設定には影響しません。複製機能を利用することで複雑なチャートのセットを効率的に作成できます。



銘柄リストとワークスペースを自由に切り替えてテクニカル分析ができます



## 6-1 メインチャートの選択と表示期間の指定

メインチャート及びその足種、表示期間については、以下のボタンより選択します。

The diagram illustrates the process of configuring the main chart through several steps:

- Chart Type Selection:** The user selects between **ロウソク足** (Candlestick) and **日足** (Daily). The **ロウソク足** menu includes options like **折れ線** (Line), **ポイント&フィギュア** (Point & Figure), **新値足** (New Value), **かぎ足** (Bracket), and **逆ウォッチ曲線** (Inverse Watch Curve).
- Time Frame Selection:** The user selects a time frame from the **日足** menu, including **1分足** (1min), **5分足** (5min), **30分足** (30min), **日足** (Daily), **週足** (Weekly), and **月足** (Monthly).
- Date Range Selection:** The user sets the start and end dates (e.g., 20130516 ~ 20130823). Below each date is a dropdown menu labeled **指定なし** (None).
- Number of Days Selection:** The dropdown menu for the number of days offers the following options: **指定なし** (None), **60本(約3か月)** (60 days, approx. 3 months), **72本** (72 days), **120本(約6か月)** (120 days, approx. 6 months), **240本(約1年)** (240 days, approx. 1 year), **360本(約18か月)** (360 days, approx. 18 months), and **480本(約2年)** (480 days, approx. 2 years).

期間の選定は日付をクリックして出現するカレンダーから日付を選んだり、開始日、終了日のそれぞれからの本数(期間)を指定することもできます。表示されている期間を直接編集して決定することもできます。

## 6-2 ナビゲータの操作による表示期間の指定



表示期間移動による変更: 表示期間をマウスでドラッグします



表示期間移動による変更: 表示期間の端をマウスでドラッグします (両端とも可能です)



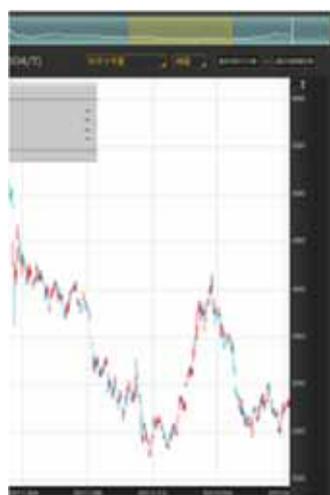
## 6-3 チャート表示エリアのマウสดラッグによる表示期間の変更

【選択ツール】 【情報ツール】

注意!! 【選択ツール】または【情報ツール】が  
選択されている必要があります  
初期設定は【情報ツール】です



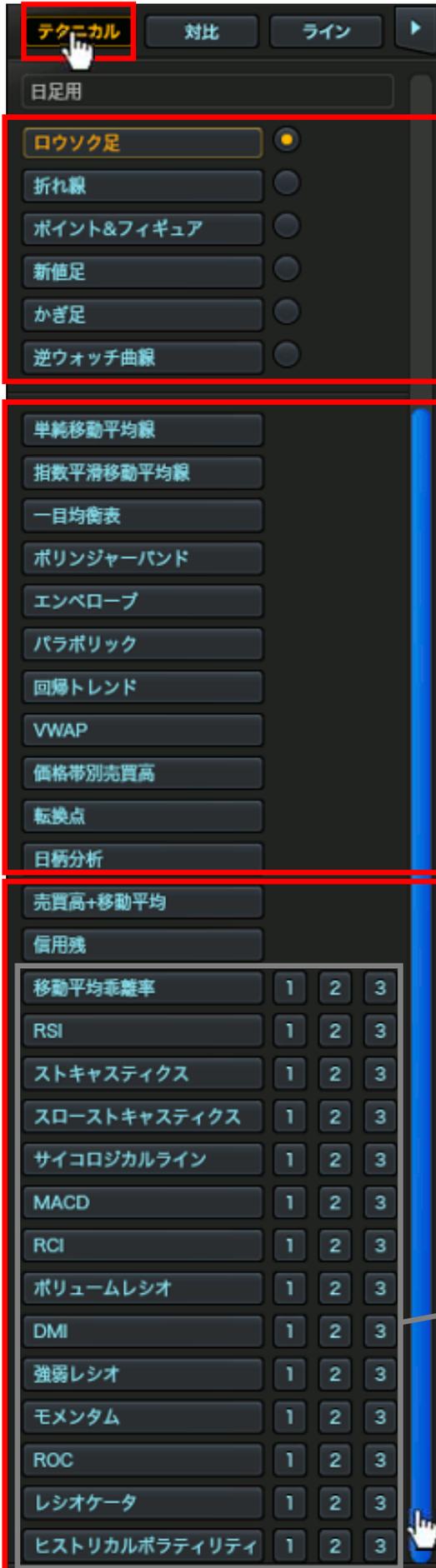
左から右にドラッグして  
表示期間を限定します。  
表示された範囲で再度  
ドラッグ可能です。



右から左にドラッグする  
ことで限定範囲が解除さ  
れ元の期間に戻ります。

# 7 追加チャートの設定(チャートの選択)

## 7-1 表示するチャートの選択



クイック設定エリアより表示したいチャートをクリックするだけで追加チャートを簡単に設定できます。また、クイック設定エリアからもメインチャートを切り替えることができます。

### メインチャート

選択しているメインチャートを変更できます。

各チャートの詳細については「チャートの詳細」をご覧ください。

### 補助チャート

選択したチャートはメインチャートと同じエリアに表示されます。

各チャートの詳細については「チャートの詳細」をご覧ください。

### 追加チャート

選択したチャートはメインチャートとは別に個別専用のエリアに表示されます。クイック設定エリアの並び順ではなく、選択された順番にメインチャートの下部に追加されます。

順番は表示後にマウスでドラッグすることで変更可能です。

これらの追加チャートは3種類ずつ表示させることができます。

各チャートの詳細については「チャートの詳細」をご覧ください。

注意!! 全てが表示されていない場合はスクロールしてください。

# 7 追加チャートの設定(設定の変更)

## 7-2 選択したチャートの条件設定1

【テクニカル】モードが選択されているのを確認しパラメーターエリアの表示ボタンを押します。



『パラメーター』エリアでは選択されたチャートに対する条件の他、描画する線の太さや色などを設定することが出来ます。期間等の設定は上下のボタンで指定したり、数値を直接編集しても変更できます。

初期設定で表示されていないチャート補助線の描画等も指定できます。

色の変更



線種の変更



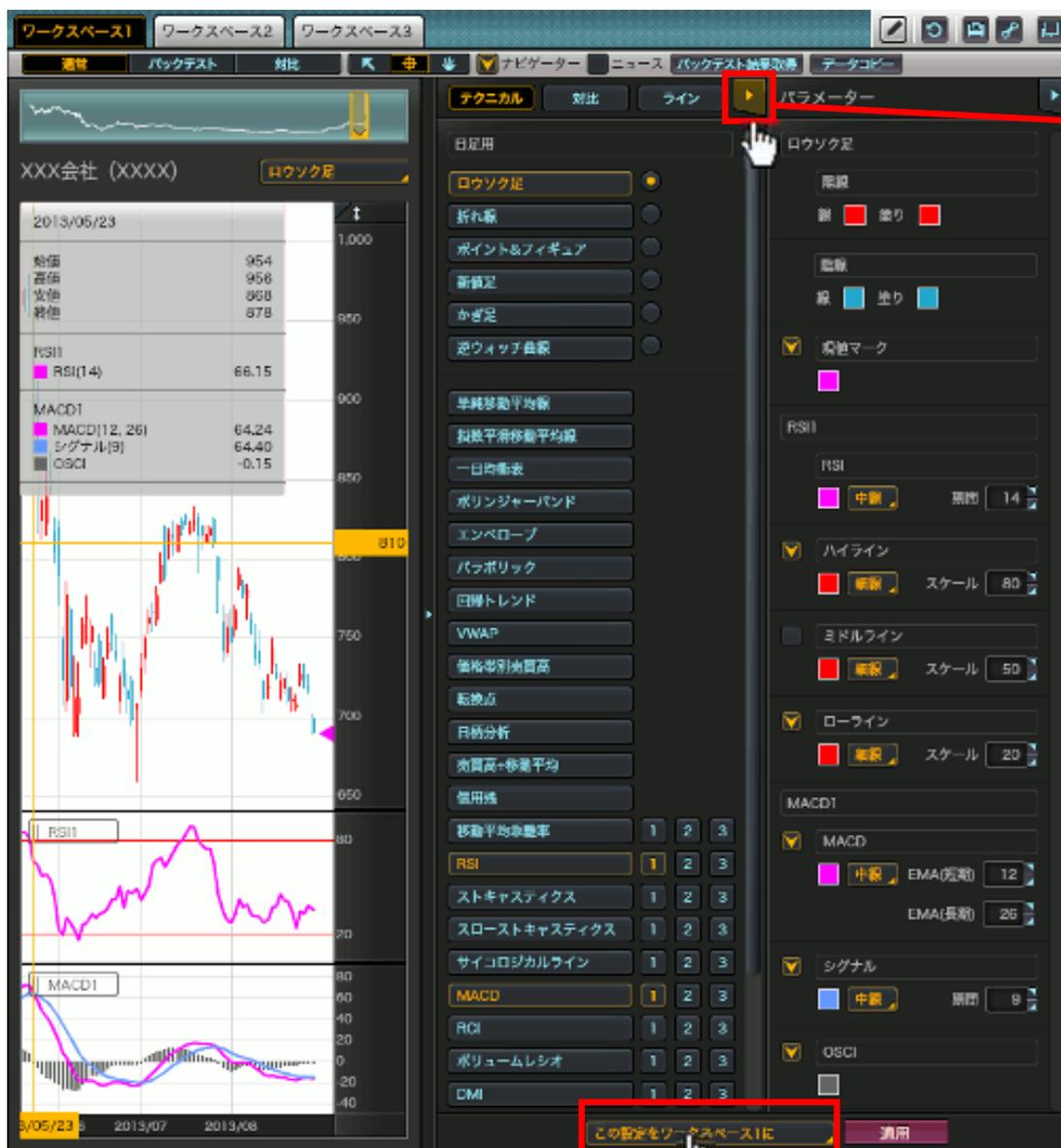
条件の変更



# 7 追加チャートの設定(ワークスペースに反映)

## 7-3 追加したチャートの条件設定2

選択した条件は瞬時に変更されますが、同じ設定を現在利用しているワークスペースとは別のワークスペースにもコピーできます。何も選択しなければ現在のワークスペースに反映されます。

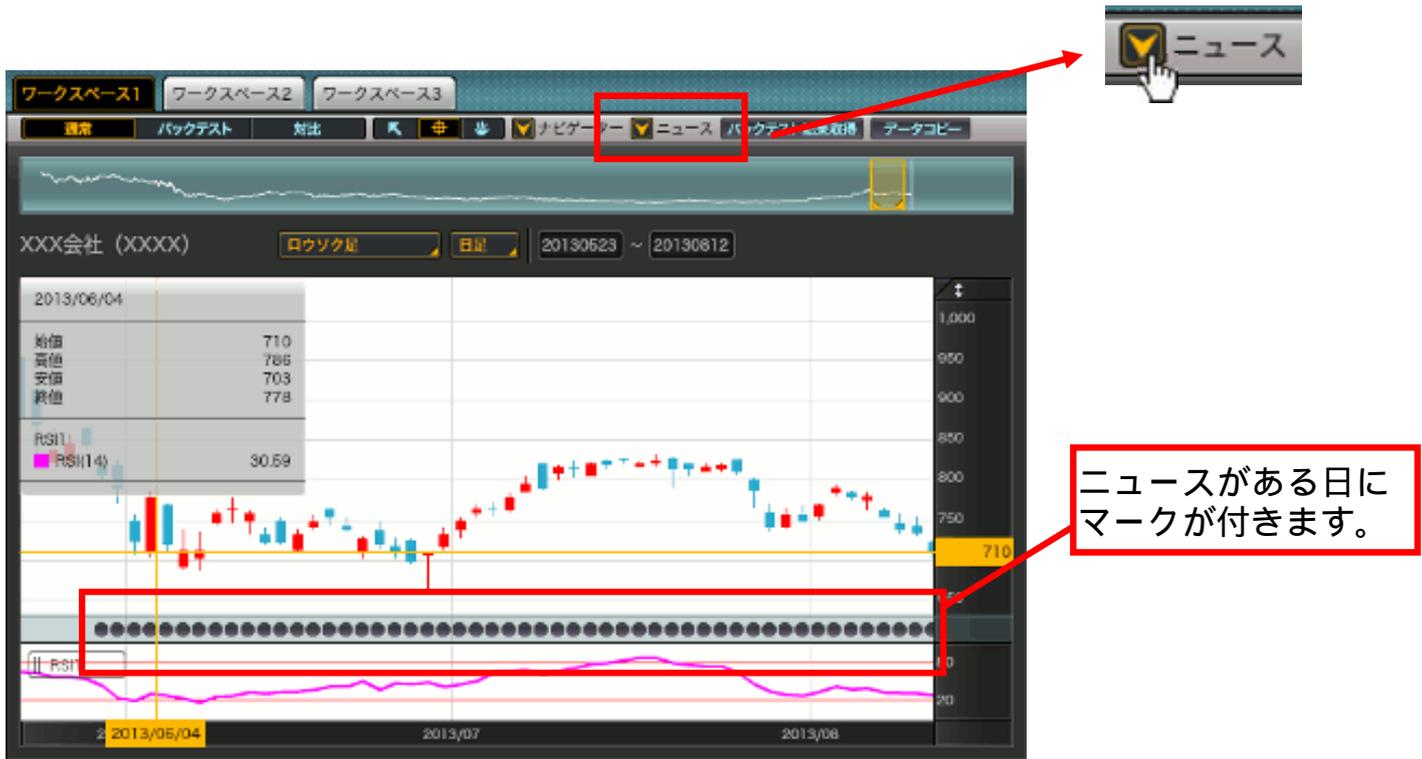


「環境設定の値をこのワークスペースに」適用を選択すると、チャート毎に設定している初期条件が各チャートに適用されます。詳細は「環境設定」をご覧ください。

各チャートの詳細については「チャートの詳細」をご覧ください。

# 8 日足チャート表示エリアにニュースを表示する

日足チャート表示と同時にその銘柄に関連したニュース3ヶ月分を確認することができます。



(1)見たい日のニュースマークをクリックすると、(2)ヘッドラインが表示されます。

そのヘッドラインから、(3)見たいニュースをクリックして下さい。

**注意!!** ニュースは「日足」を選択している時にしか表示されません。

## 9-1 情報ツール

情報ツールにより表示されている全てのチャートの数値を読み取れます。

情報ツール



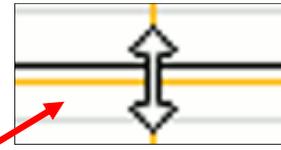
読み取りモードのままチャート表示領域の任意の場所でマウスをクリックすると、読み取り時点が固定されます。また、ポップアップしている読み取りウィンドウをマウスで場所を移動することができます (読み取りウィンドウ内でマウスをクリックして下さい)。

読み取りモードは【通常】モードだけでなく、【バックテスト】モード、【対比】モードでも利用できます。

再度読み取りウィンドウ外でマウスをクリックすると通常の読み取りモードへ戻ります。

## 9-2 メイン・追加チャートエリアの拡大縮小

メインや追加チャートの表示エリアの境界線にマウスを合わせるとカーソルが拡大縮小カーソルに変わります。その状態でマウスをドラッグすると表示領域を広げたり狭めたりすることができます。



## 9-3 メインチャート表示エリアと追加チャート表示エリアの順番入れ替え

チャート表示エリアにある追加チャート名をマウスで移動したい場所へドラッグすることで、メインチャート、追加チャートの順番を変更できます。

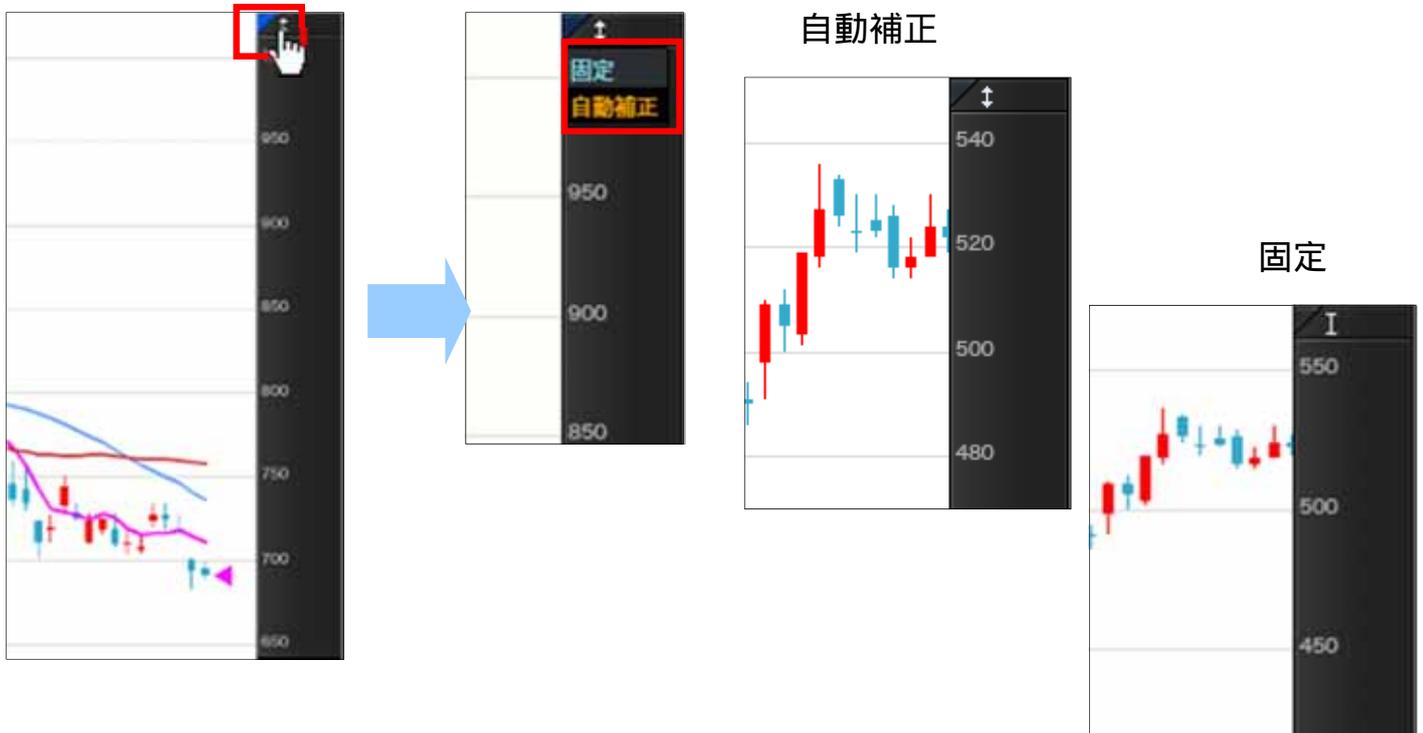


## 9-4 座標軸の操作

チャート表示エリアの座標軸 (株価の縦軸) の固定・自動調整などを指定します。

## 座標軸の固定・自動調整

座標軸は何も指定しない場合、描画されるチャートに応じて座標軸の取る値を自動調整します。この自動調整を無効にすること (固定) ができます。

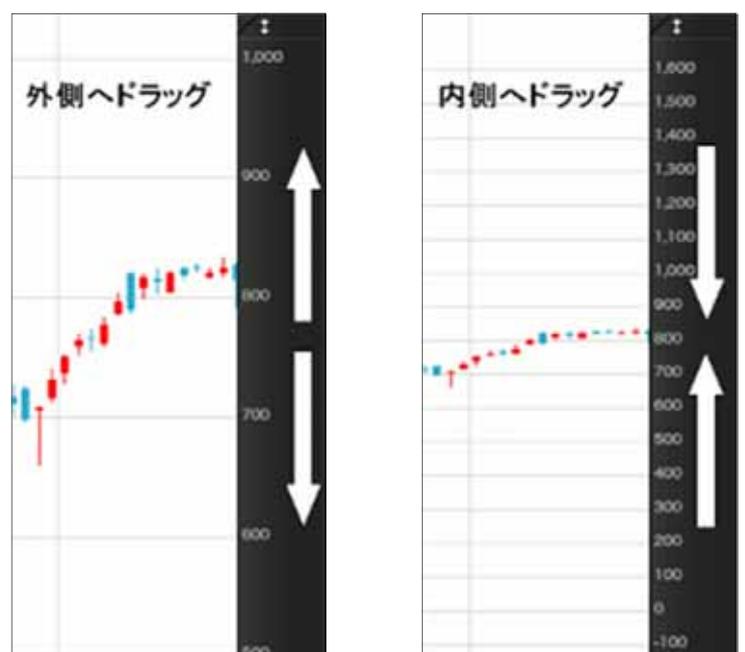


## 目盛り間隔の調整

座標軸の数値ラベル内でマウスを上下にドラッグさせると目盛り間隔を広げたり、狭めたりすることができます。

外側ヘドラッグ： 広く

内側ヘドラッグ： 狭く



## 9-5 チャートデータのコピー

描画しているチャートのデータがクリップボードへコピーされます。そのままMicrosoft Excel等へ貼り付けてデータを簡単に確認できます。データはタブ区切りのテキストデータです。



チャート数値データの出力

チャートの数値データをお使いのPCのクリップボードにコピーします。コピーしたデータは、表計算ソフトにキーボード操作 (Ctrl+V) 等で簡単に貼り付けることができます。

対象期間

すべての期間
  チャートを表示している期間

キャンセル
データをコピー

データのコピーは取得可能な全期間または表示されている期間を選択できます。

## Excel出力のサンプル

XXXX-日足-ロウソク足

日時	始値	高値	安値	終値	売買高/売買高 +移動平均	SMA1/ 売買高+移動平均	SMA2/ 売買高+移動平均	RSI/RSI1
2010/8/6	501	512	500	507	30146900	31764880	31883116	66.67
2010/8/9	505	511	504	509	22199000	31231160	31237184	81.4
2010/8/10	515	522	515	519	41115900	30372960	31770044	82.42
2010/8/11	514	517	507	508	31567400	30739580	30955748	70.97
2010/8/12	497	498	486	497	40699900	33145820	30584648	63.46
2010/8/13	496	504	494	503	32893000	33695040	30261436	63.46
2010/8/16	496	502	492	500	23497500	33954740	29783608	54.44
2010/8/17	495	497	489	492	30363600	31804280	29685396	51.58

# 10 ウィンドウの便利な使い方(チャート画面の設定)

ウィンドウ内のメニューエリア等を操作して、チャート表示エリアを効率的に使う方法をご紹介します。

ナビゲータを消す

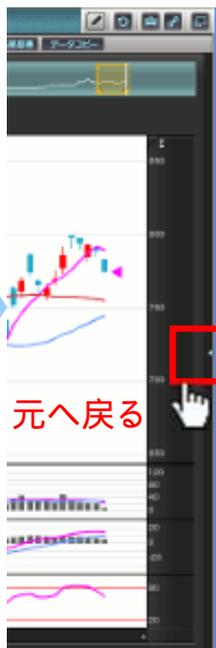
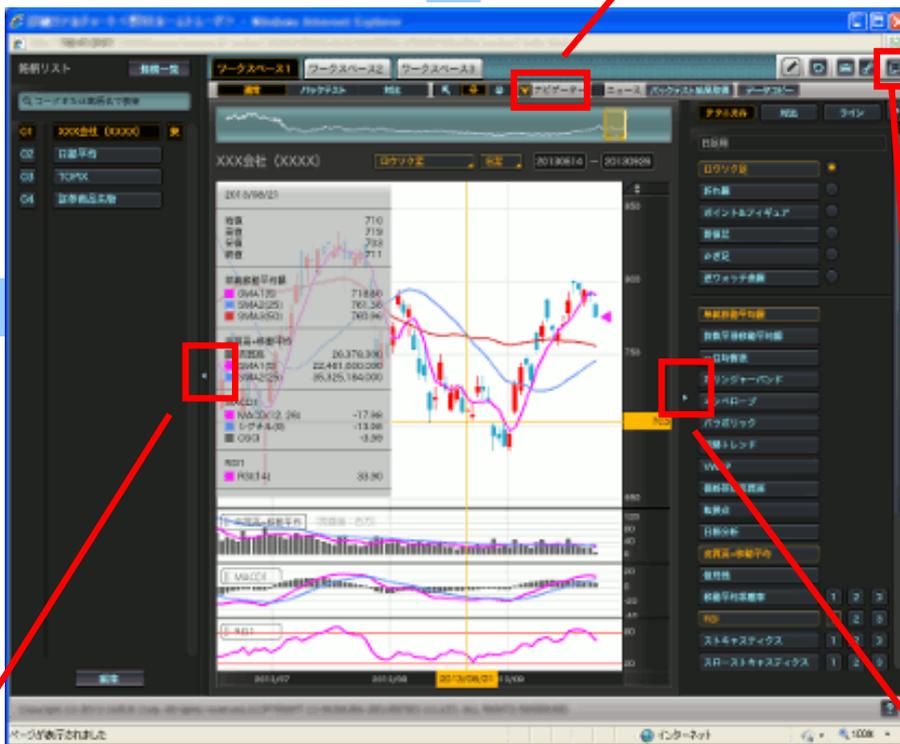


もう一度押すと元へ戻ります



クイック設定エリアを消す

銘柄リストエリアを消す



元へ戻る



元へ戻る



Escキーでもとへ戻ります。  
キーボード操作は無効です。

全画面表示にする



詳細リアルチャートでは、チャート上に簡単にトレンドラインを描いたり、消したり、拡張することができます。トレンドラインを自動的に高値、安値等へ吸着させたり、日足で描いたトレンドラインが週足や月足に変更しても自動的に補完され描画されたり、多彩な機能を搭載しています。

### 11-1 トレンドラインの概要

トレンドラインを描くにはトレンドライン描画ツールを選びます。



トレンドライン  
描画ツール

トレンドライン描画ツールには3種類あります。

- 線分・・・自由な角度でラインが描けます。
- 水平・・・水平性が描けます。
- 平行・・・2本の平行線を自由な角度で同時に描けます。

どのツールでラインを描いても、後からそのラインを変更・コピー・削除できます。

線分から水平線等への変更やラインの色・太さの変更もできます。

また、一括してラインを全て削除することも可能です。

トレンドのラインの描き方には2種類あります。

- 描画ツールをマウスでチャート表示エリアにドラッグし、その後位置を調整する。
- 描画ツールを選択後、チャート表示エリアでマウスをドラッグし描画する。

トレンドラインはメインチャート表示エリアだけでなく、追加チャート表示エリアにも描くことができます。

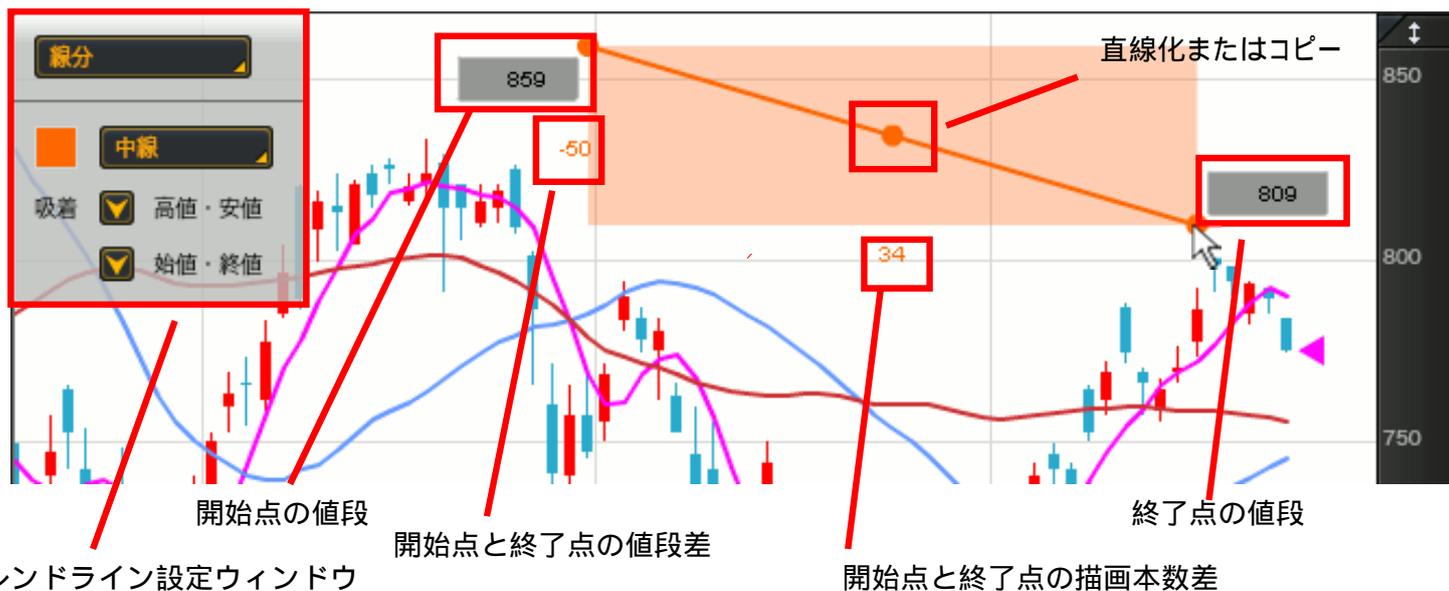
# 11 チャートにトレンドラインを引く(線を描く)

## 11-2 トレンドラインの描き方

トレンドラインの描き方を線分を例に説明します。水平線、平行線の引き方も同様です。  
トレンドライン描画ツールの線分を選択します。



選択後メインチャート表示エリアでマウスをドラッグします。



薄くオレンジ色で網掛けされた範囲が描画され、開始点の値段、終了点の値段、開始点と終了点の値段差、および開始点と終了点のチャート描画本数の差が表示されます。

その後、開始点と終了点を自由にドラッグして位置を決定します。ドラッグの際にトレンドライン設定ウィンドウにある線種の変更やラインの太さ、色、および高値・安値等への吸着を指定することができます。

なお、開始点と終了点の間にある点をクリックすると線分の開始点・終了点が延長され各座標軸に接する直線になり、再度クリックすると元の線分へ戻ります。ドラッグすると描いたラインをコピーすることができます。

位置が確定した段階で、チャート表示エリア内の他のところをクリックすると確定されます。確定と同時にトレンドライン設定ウィンドウも自動的に消えます。

再度変更したい時には、マウスで対象となるラインをクリックし選択することで上記と同じ操作が可能となります。



ラインの開始点および終了点が高値等に近付くと自動的にそのポイントへ吸着させるかどうかの指定ができます。

## 11-3 トレンドラインを消す

描画したトレンドラインを消す場合は、消したいラインをマウスで選択して Deleteキーで削除できます。マウス右クリック等で表示されるコンテキストメニューから「選択されたラインを削除」を選ぶこともできます。

コンテキストメニューから「全てのラインを削除」を選択すると、今選ばれていないトレンドラインも含め全てのトレンドラインが削除されます。



## 11-4 トレンドライン描画エリアを自由に拡張する

ハンドツールを利用してチャート表示エリアを自由に拡張できます。チャートが描画できない未来方向へも拡張可能です。

未来方向へ拡張された状態    ハンドツールの選択



選択後、グラフをつかみ自由に動かしてください。確定後、選択ツールに戻しても領域は拡張されたままになります。

## 11-5 トレンドラインに関する注意事項

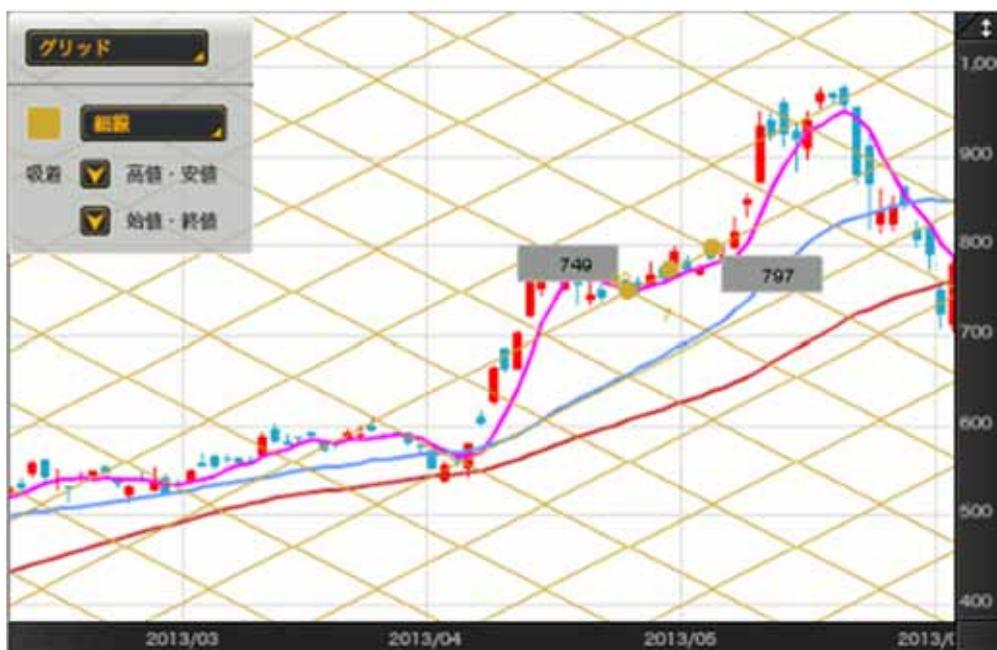
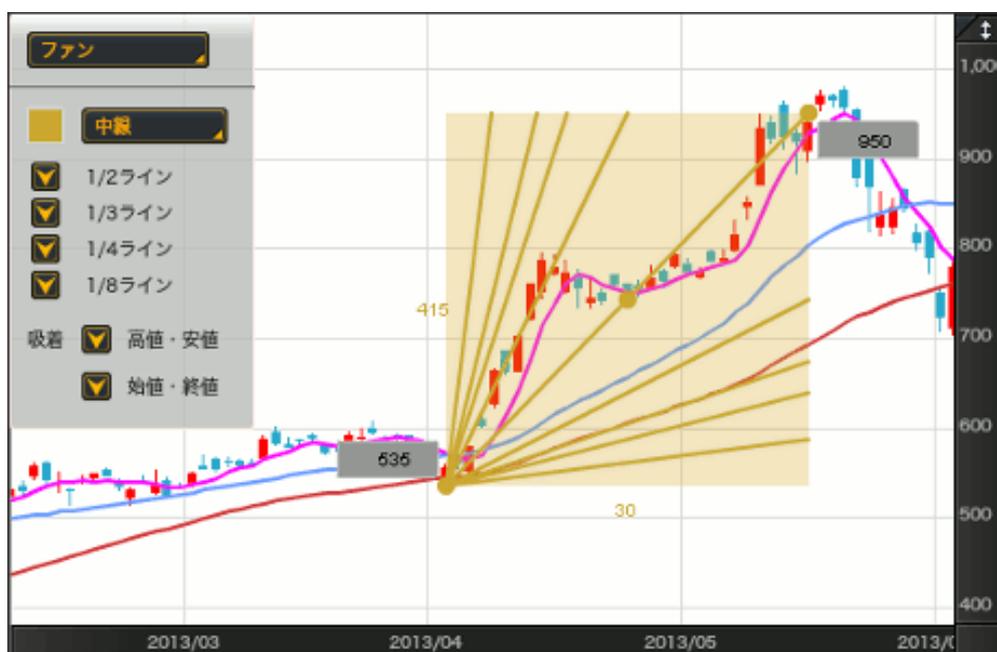
日足以上(日足、週足、月足)で描いたトレンドラインは足種を週足、月足に変更しても自動的に描画されます。その逆も可能です。ただし、日中足(1分足、5分足、30分足)で描いたトレンドラインは日足以上では描画されません。日足以上で描いたトレンドラインも日中足では描画されません。(元の足種に切り替えると表示されます。)

## 11-6 ギャンの描き方

トレンドラインと同じ操作で「ギャンファン」「ギャングリッド」を描画できます。



- ギャンファン  
上下に1/2から1/8までのラインの描画を指定できます。
  - ギャングリッド  
開始点から終了点を結ぶラインを一边とする平行四辺形をグリッドとして全体へ描画します。
- 変更、コピー、削除、線分の延長などの操作もトレンドラインと同様です。



## 11-7 フィボナッチの描き方

トレンドラインと同じ操作でフィボナッチ比率の「リトレースメント」「エクспанション」「タイムゾーン」を描画できます。



- **リトレースメント**  
開始点と終了点を基にフィボナッチ比率の平行水平線を描きます。描画する比率についても指示できます。
  - **エクспанション**  
3点を基にフィボナッチ比率の平行水平線を描きます。描画する比率についても指示できます。
  - **タイムゾーン**  
開始点と終了点を基にフィボナッチ比率の平行垂直線を描きます。描画する比率についても指示できます。
- 変更、コピー、削除、線分の延長などの操作もトレンドラインと同様です。



# 12 バックテスト(概要)

表示しているチャートに対し、過去のデータで売買シミュレーションを行うモードです。表示しているチャートのどれを使って、どのような条件で売買させるのか、利食いや損切りのタイミングはどうするのかなどを指定して売買シミュレーションを過去データに対し仮想的に実行して、その勝敗や収益率などを計算できます。

一般的なチャートのパターンについては毎日全銘柄のバックテストが実施されています。その結果からパフォーマンスの良かったチャートを知ることができます。それらのチャートを取得し、それに新たなチャートを追加したり、条件を変えてのシミュレーションなどが実施できます。

## 12-1 バックテストの設定1

バックテストを実行するには、バックテスト可能なチャートが選択されている必要があります。その状態で次の操作を行い、バックテストの条件を設定します。(バックテスト可能なチャートについては「バックテスト可能なチャートの一覧」をご覧ください。)

クイック設定エリアより[バックテスト条件]を表示させます。

The screenshot shows the trading software interface. At the top, there are tabs for 'テクニカル' (Technical), '対比' (Comparison), and 'ライン' (Line). The 'テクニカル' tab is highlighted with a red box. Below the tabs, there are two arrows pointing to the right, one for 'パラメーター' (Parameters) and one for 'バックテスト条件' (Backtest Conditions). The 'バックテスト条件' panel is open, showing various settings for backtesting, such as '利食い' (Take Profit) set to 20% above, '損切り' (Stop Loss) set to 10% below, and 'RSI' conditions. A red arrow points from the text above to the 'バックテスト条件' panel. Another red arrow points from the 'テクニカル' tab to the text below.

テクニカルが選択されていることを確認してください。

## 12-2 バックテストの設定2

【バックテスト条件】にはバックテスト可能なチャートについて、それぞれのチャートで指定できる売り買い条件と初期値が表示されます。バックテスト可能なチャートの数だけ表示されます。

サンプル



最初に以下の条件を設定します。

買条件

売条件

利食いする場合の収益率（なしも選択できます）

損切りする場合の収益率（なしも選択できます）

必要な条件をマウスでチェックし、チェックした条件の詳細を決定します。条件の詳細を決定しなくても、一般的な初期値がセットされていますので、必要な条件にチェックを付けるだけでもバックテストは実行可能です。後は『バックテスト』ボタンを押すだけです。

複数の買条件や売条件を選択した場合には、選択した全てのチャートで買条件が発生した時（している時）のみ「買い」が発動、同様に全ての売条件が発生した時（している時）のみ「売り」が発動されます。

バックテストは売買サイン発動後の翌計算日の始値で売買します。

日足の場合は・・・翌日の始値

週足の場合は・・・翌週の始値

月足の場合は・・・翌月の始値

のデータを利用して仮想的な売買を繰り返します。

利食い、損切りを指定した場合も翌計算日の始値で売買します。

バックテストは以下のケースに対して最初の売買を0とし、その後のパフォーマンスを計算します。バックテスト期間はチャート表示エリア上の期間となります。

買いのみ（「買い」発動で買い、「売り」発動で清算）

売りのみ（「売り」発動で売り、「買い」発動で清算）

買い&売り（「買い」発動で買い、「売り」発動で清算しそのタイミングで売り）

または（「売り」発動で売り、「買い」発動で清算しそのタイミングで買い）

上記3パターンに利食い・損切り（強制清算）を付加（選択した場合のみ）



## 12-3 バックテストの結果を損益率追加チャートで確認する

『バックテスト』ボタンを押すと追加チャートと同様に【損益率】追加チャートがメインチャート表示エリアの直下に自動的に挿入され、パフォーマンスグラフと売買したタイミングのフラグが表示されます。なお、売買に適用したチャートについては、その表示内にバックテスト条件で定義した売買サインの状態が表示されます。



## 売買シグナルの意味

- 赤  買いサイン / 買った・・・連続して発動する場合は初回のみを適用します。  
損切り等で清算した場合は初回以降でも適用します。
- 青  売りサイン / 売った・・・連続して発動する場合は初回のみを適用します。  
損切り等で清算した場合は初回以降でも適用します。
- ピンク  利食い、あるいは損切りで売った状態を清算した(買い戻した)
- 緑  利食い、あるいは損切りで買った状態を清算した(売却した)

# 12 バックテスト(売買シグナル結果)

損益率の追加チャート以外にもバックテストの詳細を確認できます。

## 12-4 バックテストの結果を【バックテスト結果】ウィンドウを表示して確認する



【バックテスト結果】ボタンをクリックすると【バックテスト結果】ウィンドウが表示されます。

各パターンの収益率の他、売買回数や勝率、最大損益率などが確認できます。

なお、このウィンドウはチャートエリア内に自由に配置できます。また、【バックテスト結果】ボタンのチェックを外すとウィンドウを消すことができます。

## 12-5 バックテストの結果を【情報ツール】で読み取る



## 12-6 バックテストの結果を【データコピー】で詳細に確認する



XXXX-日足-ロウソク足 日時	始値	高値	安値	終値	騰落率	買のみ	売のみ	買&売	売買発生日	RSI/RSI1	売買S/RSI1
2010/7/26	473	480	468	469	100	100	100	100		41.53	
2010/7/27	470	480	468	475	101.28	100	100	100		50.93	
2010/7/28	483	498	482	492	104.9	100	100	100		51.82	
2010/7/29	493	498	488	489	104.26	100	100	100		49.09	
2010/7/30	492	492	479	481	102.56	100	100	100		42.34	
2010/8/2	493	495	485	488	104.05	100	100	100		48.21	
2010/8/3	498	511	497	506	107.89	100	100	100		51.67	
2010/8/4	507	510	500	501	106.82	100	100	100		54.39	
2010/8/5	506	508	493	502	107.04	100	100	100		58.88	
2010/8/6	501	512	500	507	108.1	100	100	100		66.67	
2010/8/9	505	511	504	509	108.53	100	100	100		81.4	売
2010/8/10	515	522	515	519	110.66	100	99.22	99.22	売	82.42	売
2010/8/11	514	517	507	508	108.32	100	99.42	100.19	買(食い)/損切り)	70.97	売
2010/8/12	497	498	486	497	105.97	100	99.22	100.19	売	63.46	

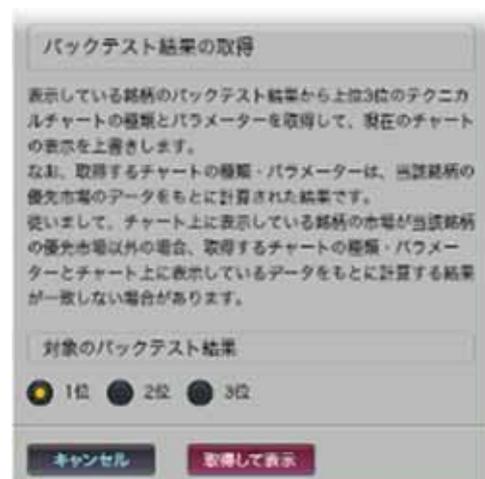
## 12-7 バックテスト結果取得

一般的なチャートのパターンについては毎日全銘柄のバックテストが実施されていて、そこからパフォーマンスの良かったチャートを知ることができます。それらのチャートを取得し、それに新たなチャートを追加したり、条件を変えてのシミュレーションなどが実施できます。毎日テストされているパターンは次の通りです。

No.	チャート	買い条件	売り条件
1	単純移動平均	5日が25日を上抜け	5日が25日を下抜け
2	指数平滑移動平均	12日が20日を上抜け	12日が20日を下抜け
3	一目均衡表	転換が基準を上抜け	転換が基準を下抜け
4		雲を上抜け	雲を下抜け
5		遅行スパンが株価を上抜け	遅行スパンが株価を下抜け
6	パラボリック	陽転	陰転
7	MACD	シグナルを上抜け	シグナルを下抜け
8	ボリンジャーバンド	-2 を下抜け	2 を上抜け
9	回帰トレンド	-1.8 を下抜け	1.8 を上抜け
10	移動平均乖離率	25日が-5%以下	25日が5%以上
11		25日が-7%以下	25日が7%以上
12		25日が-10%以下	25日が10%以上
13		75日が-5%以下	75日が5%以上
14		75日が-10%以下	75日が10%以上
15		75日が-15%以下	75日が15%以上
16	RSI	20以下	80以上
17		30以下	70以上
18	スローストキャスティクス	%Dが20以下 かつ%Dが%SDを上抜け	%Dが80以上 かつ%Dが%SDを下抜け
19		%Dが30以下 かつ%Dが%SDを上抜け	%Dが70以上 かつ%Dが%SDを下抜け
20	サイコロジカルライン	20以下	80以上
21		30以下	70以上
22	RCI	5日が10日を-70以下で上抜け	5日が10日を70以上で下抜け
23		5日が10日を-80以下で上抜け	5日が10日を80以上で下抜け

これらの23パターンに対して、過去2年間で「買い&売り」におけるパフォーマンスが良かった上位1~3位までのチャートとその条件を自分のバックテスト環境にセットできます。取得後は通常のバックテストと同じ画面表示となります。その後条件等を変更してバックテストもできます。

ただし、この操作を行うとバックテスト結果を取得指示したワークスペースのチャート情報が削除され、取得したチャート情報のみになります。事前に確認してから実行して下さい。



# 13 対比チャート(他銘柄や指数のチャートと比較)

分析対象を他の銘柄や指数と比較するモードです。通常の数値化する対比だけでなく、チャートの開始日とは別に自由に数値化する日付を指定したり、同じ銘柄や指数を自身の過去の相場と比較したり、比較対象データの前年同月比を計算してそれとの比較など、様々な対比分析が簡単に実行できます。

## 13-1 対比モードへの切り替え



対比モードへ切り替えると、通常モードで表示されていた補助チャートや追加チャートが消え、【対比チャート表示エリア】と差分を表示する【スプレッドチャート表示エリア】に切り替わります。メインチャートも折れ線に固定されます。通常モードへ切り替えると以前のチャートが表示されます。



【相対】ボタンも同時に表示されます。



# 13 対比チャート(比較する銘柄や指数を登録)

## 13-2 対比銘柄の登録

【クイック設定エリア】で【対比】モードを選択すると、表示が切り替わり銘柄や指数を登録できます。

ここでの登録方法は【銘柄リスト】と同様です。詳細は【銘柄リスト】の項をご覧ください。



## 13-3 対比銘柄の詳細設定

対比銘柄を登録後、詳細設定エリアを表示させると色、線の太さ、前年比換算、対比対象時点を変更できます。対比対象時点の変更はメインチャート銘柄の対象期間はそのままに、対比対象の比較期間を変更します。この機能を利用して自身の過去と比べたりすることができます。

対比対象銘柄の削除もここでを行います。



# 13 対比チャート(チャートの使い方)

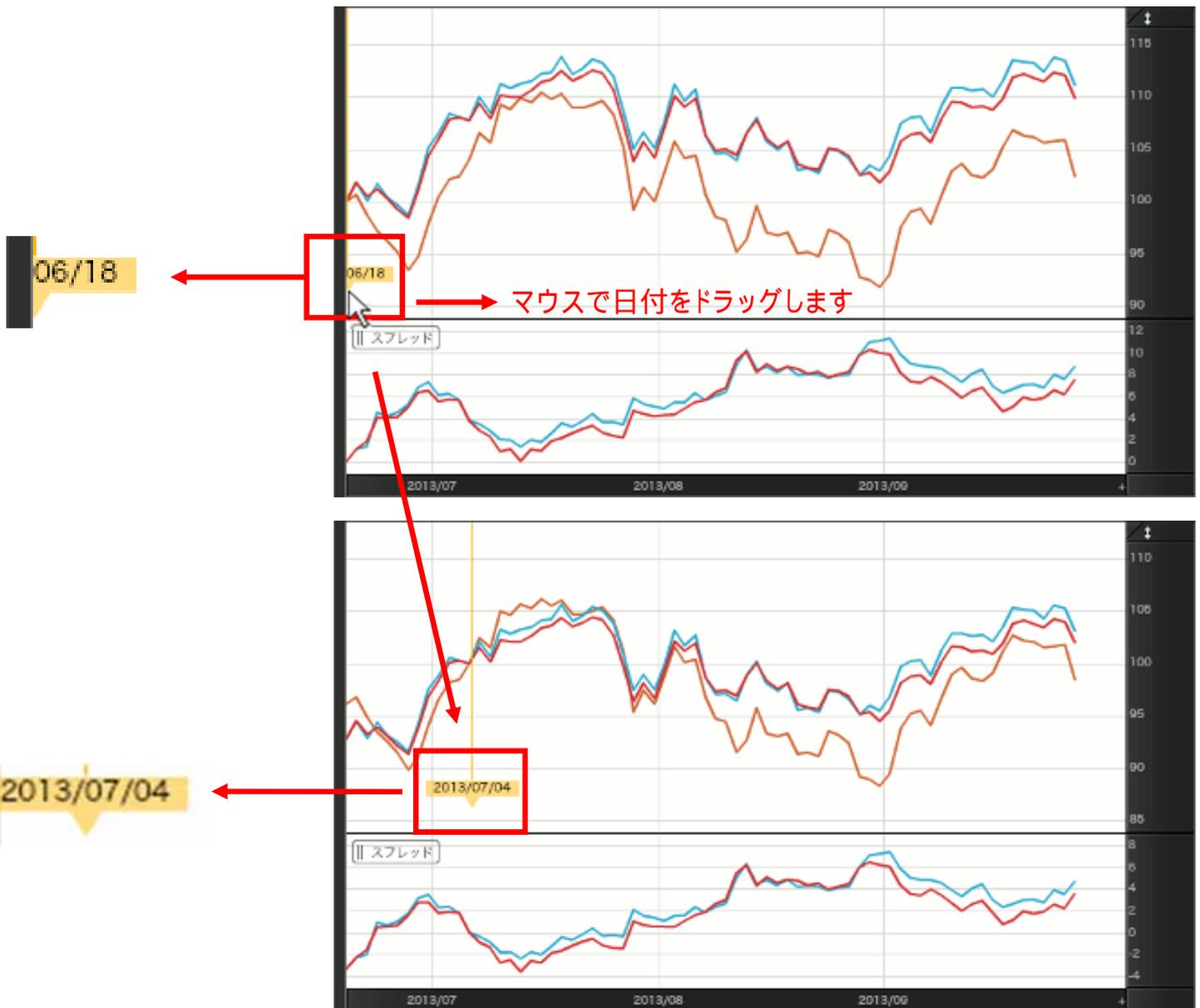
## 13-4 対比チャートの操作

下のチャートは全く同じ銘柄同じ期間の対比チャートです。

上のチャートは指数化スタート日が標準のチャート表示日です。通常なにも指定しなければ表示開始日から全ての銘柄が100でスタートします。(2013年6月18日より指数化)

下のチャートは指数化スタート開始日を変更しています。(2013年7月4日より指数化)

マウス操作だけで簡単に指数化開始日を変更できます。



## 13-5 データコピー

【データコピー】ボタンをクリックすると対比対象銘柄を指数化したデータやスプレッドも同時にクリップボードにコピーされ、簡単にExcel等で確認できます。



# 13 対比チャート(対比期間の変更)

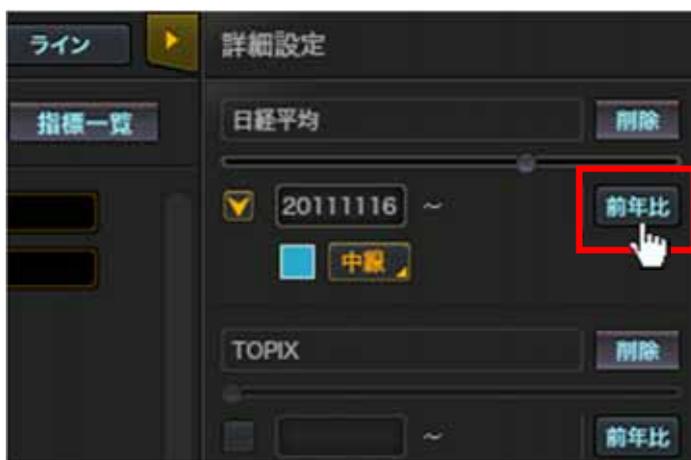
## 13-6 対比対象期間の変更

1. 対比期間を変更する銘柄を選択します。
2. 日付を以下の方法により変更します。
  - スライダーをドラッグして変更
  - 日付をクリックして現れるカレンダーから変更
  - 直接日付を編集して変更



## 13-7 前年比チャートの指定

「前年比」ボタンの選択により前年と当年の比率チャートを描画します。

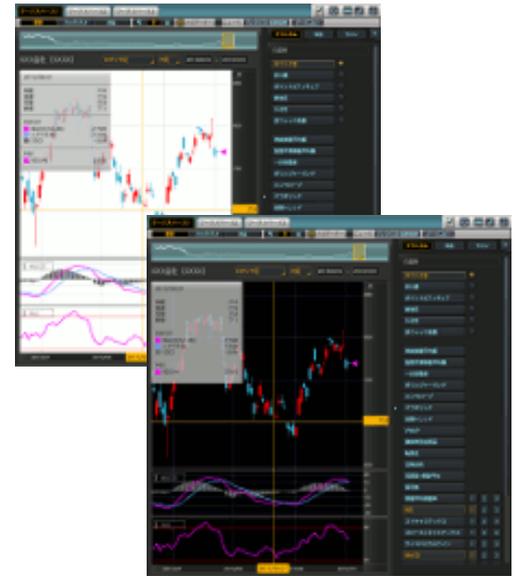


# 14 環境設定(背景色の変更/チャートの条件設定)

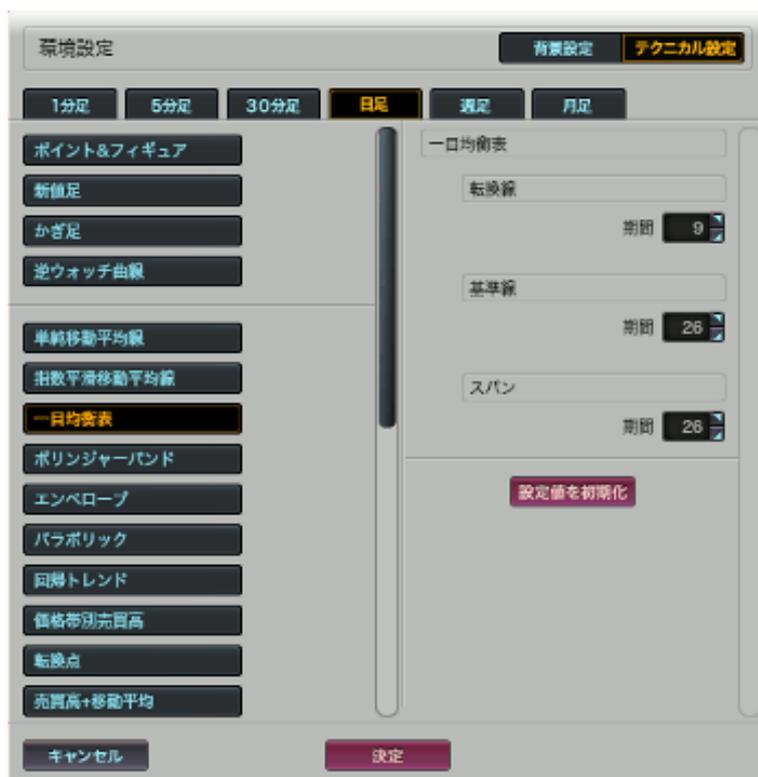
環境設定ではチャート表示エリアの背景色や表示グリッド、および各チャートの初期条件を設定できます。



## 背景設定



## テクニカル設定



テクニカル設定では、クイック設定エリアで選択する各チャートの初期条件を自由に変更できます。

ここで変更した情報はクイック設定で新たに追加・変更したチャートのみ反映し、すでに設定されている各ワークスペースのチャートには影響しません。

1分足、5分足、30分足、日足、週足、月足の別に、オリジナルの初期条件を設定することで、より詳細リアルチャートが使いやすくなります。

設定できるチャートについては「チャートの詳細」をご覧ください。

# 15 チャートの詳細

## 15-1 メインチャートと補助チャート一覧(初期設定値)

チャート (網掛けはバックテスト 可能なチャート)	条件	初期表示 対象	デフォルト値						
			1分足	5分足	30分足	日足	週足	月足	
メイン チャート	ロウソク足	なし	表示	-	-	-	-	-	-
	折れ線	なし	表示	-	-	-	-	-	-
	新値足	本数	表示	3	3	3	3	3	3
	カギ足	定率値	表示	0.3	0.3	0.3	3	3	3
		定額値	表示	自動調整	自動調整	自動調整	自動調整	自動調整	自動調整
	ポイント&フィギュア	BOX	表示	3	3	3	3	3	3
		POINT	表示	自動調整	自動調整	自動調整	自動調整	自動調整	自動調整
逆ウォッチ曲線	期間	表示	25	25	25	25	25	25	
補助 チャート	単純移動平均	SMA1	表示	5	5	5	5	13	6
		SMA2	表示	25	25	10	25	26	12
		SMA3	表示	50	50	25	50	52	24
		SMA4	非表示	75	75	30	75	75	30
		SMA5	非表示	100	100	50	100	100	50
	指数平滑移動平均	EMA1	表示	12	12	5	12	13	6
		EMA2	表示	20	20	12	20	26	12
		EMA3	表示	50	50	20	50	52	24
		EMA4	非表示	75	75	50	75	75	30
		EMA5	非表示	100	100	75	100	100	50
	一目均衡表	転換線期間	表示	9	9	9	9	9	9
		基準線期間	表示	26	26	26	26	26	26
		スパン期間	表示	26	26	26	26	26	26
	ボリンジャーバンド	SMA	表示	25	25	20	25	25	20
		標準偏差1	表示	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		標準偏差2	表示	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
		標準偏差3	非表示	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	エンベロープ	SMA	表示	25	25	20	25	25	20
		乖離率1	表示	±0.2	±0.3	±0.5	±2.5	±10.0	±25.0
		乖離率2	表示	±0.4	±0.6	±1.0	±5.0	±20.0	±50.0
		乖離率3	非表示	±0.6	±0.9	±1.5	±7.5	±30.0	±75.0
	パラボリック	AF初期値	表示	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020
		AF加算値	表示	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020
		AF最大値	表示	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200
	回帰トレンド	回帰トレンド	表示	75	75	25	75	75	25
		標準誤差1	表示	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		標準誤差2	表示	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
		標準誤差3	非表示	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	VWAP	なし	表示	-	-	-	-	-	-
	価格帯別売買高	価格幅	表示	標準	標準	標準	標準	標準	標準
		最大値表示	表示	ON	ON	ON	ON	ON	ON
転換点	期間	表示	10	10	10	10	10	10	
日柄分析チャート	全日柄	表示	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
	高値日柄	表示	ON	ON	ON	ON	ON	ON	
	安値日柄	表示	ON	ON	ON	ON	ON	ON	

## 15-2 追加チャート一覧1 (初期設定値)

チャート (網掛けはバックテスト 可能なチャート)	条件	初期表示 対象	デフォルト値					
			1分足	5分足	30分足	日足	週足	月足
売買高+移動平均	移動平均1	表示	5	5	5	5	13	6
	移動平均2	表示	25	25	10	25	26	12
	移動平均3	非表示	75	75	25	75	52	24
信用残	なし	表示	-	-	-	-	-	-
移動平均乖離率1	SMA1	表示	5	5	5	5	13	6
	SMA2	表示	25	25	10	25	26	12
	SMA3	非表示	75	75	25	75	52	24
	Highスケールライン	表示	2	3	10	10	25	50
	Lowスケールライン	表示	-2	-3	-10	-10	-25	-50
移動平均乖離率2	設定項目は同上							
移動平均乖離率3	設定項目は同上							
RSI1	期間	表示	14	14	14	14	14	14
	Highスケールライン	表示	80	80	80	80	80	80
	Middleスケールライン	非表示	50	50	50	50	50	50
	Lowスケールライン	表示	20	20	20	20	20	20
RSI2	設定項目は同上							
RSI3	設定項目は同上							
ストキャスティクス1	%K	表示	9	9	9	9	9	9
	%D	表示	3	3	3	3	3	3
	Highスケールライン	表示	70	70	70	70	70	70
	Middleスケールライン	非表示	50	50	50	50	50	50
	Lowスケールライン	表示	30	30	30	30	30	30
ストキャスティクス2	設定項目は同上							
ストキャスティクス3	設定項目は同上							
スローストキャスティクス1	期間(%K)	表示	9	9	9	9	9	9
	%D	表示	3	3	3	3	3	3
	%SD	表示	3	3	3	3	3	3
	Highスケールライン	表示	70	70	70	70	70	70
	Middleスケールライン	非表示	50	50	50	50	50	50
	Lowスケールライン	表示	30	30	30	30	30	30
スローストキャスティクス2	設定項目は同上							
スローストキャスティクス3	設定項目は同上							
サイコロジカル・ライン1	期間	表示	12	12	12	12	12	12
	Highスケールライン	表示	75	75	75	75	75	75
	Middleスケールライン	非表示	50	50	50	50	50	50
	Lowスケールライン	表示	25	25	25	25	25	25
サイコロジカル・ライン2	設定項目は同上							
サイコロジカル・ライン3	設定項目は同上							
MACD1	EMA(短期)	表示	12	12	12	12	12	12
	EMA(長期)	表示	26	26	26	26	26	26
	シグナル	表示	9	9	9	9	9	9
	OSCI	表示	-	-	-	-	-	-
MACD2	設定項目は同上							
MACD3	設定項目は同上							

追加チャート

## 15-3 追加チャート一覧2(初期設定値)

チャート (網掛けはバックテスト 可能なチャート)	条件	初期表示 対象	デフォルト値					
			1分足	5分足	30分足	日足	週足	月足
RCI1	期間1	表示	9	9	9	9	9	9
	期間2	表示	26	26	26	26	26	26
	期間3	表示	52	52	52	52	52	52
	Highスケールライン	表示	70	70	70	70	70	70
	Lowスケールライン	表示	-70	-70	-70	-70	-70	-70
RCI2	設定項目は同上							
RCI3	設定項目は同上							
ボリュームレシオ1	期間1	表示	5	5	5	5	5	5
	期間2	表示	25	25	10	25	25	25
	Highスケールライン	表示	70	70	70	70	70	70
	Lowスケールライン	表示	30	30	30	30	30	30
ボリュームレシオ2	設定項目は同上							
ボリュームレシオ3	設定項目は同上							
DMI1	DMI	表示	14	14	14	14	14	14
	ADX	表示	9	9	9	9	9	9
	ADXR	表示	14	14	14	14	14	14
DMI2	設定項目は同上							
DMI3	設定項目は同上							
強弱レシオ1	期間	表示	26	26	26	26	26	26
強弱レシオ2	設定項目は同上							
強弱レシオ3	設定項目は同上							
モメンタム1	期間	表示	25	25	25	25	25	25
	移動平均	表示	10	10	10	10	10	10
モメンタム2	設定項目は同上							
モメンタム3	設定項目は同上							
ROC1	期間1	表示	12	12	12	12	12	12
	期間2	表示	25	25	25	25	25	25
ROC2	設定項目は同上							
ROC3	設定項目は同上							
レシオケータ1	期間1	表示	25	25	25	25	25	25
レシオケータ2	設定項目は同上							
レシオケータ3	設定項目は同上							
ヒストリカル・ボラティリティ1	期間1	表示	20	20	20	20	20	20
	期間2	非表示	60	60	60	60	60	60
	Highスケールライン	表示	0.6	0.6	0.6	60	60	60
	Middleスケールライン	非表示	0.4	0.4	0.4	40	40	40
	Lowスケールライン	表示	0.2	0.2	0.2	20	20	20
ヒストリカル・ボラティリティ2	設定項目は同上							
ヒストリカル・ボラティリティ3	設定項目は同上							

追加チャート

## 16-1 メインチャートと補助チャート一覧(初期設定値)

チャート	設定項目	初期値	
		買い条件	売り条件
メインチャート	新値足	陽転 / 陰転	陽転 / 陰転
	カギ足	陽転 / 陰転	陽転 / 陰転
		陽転 / 陰転	陽転 / 陰転
	ポイント & フィギュア	陽転 / 陰転	陽転 / 陰転
陽転 / 陰転		陽転 / 陰転	
補助チャート	単純移動平均	[SMA1・2・3・4・5]が[SMA1・2・3・4・5]を[上抜け・下抜け]	SMA1, SMA2, 上抜け / SMA1, SMA2, 下抜け
		[SMA1・2・3・4・5]が[SMA1・2・3・4・5]より[大きい・小さい]	SMA1, SMA2, 大きい / SMA1, SMA2, 小さい
		終値が[SMA1・2・3・4・5]を[上抜け・下抜け]	SMA1, 上抜け / SMA1, 下抜け
		終値が[SMA1・2・3・4・5]より[大きい・小さい]	SMA1, 大きい / SMA1, 小さい
		[SMA1・2・3・4・5]の今回と前回の差が前回と前々回の差より[大きい・小さい]	SMA1, 大きい / SMA1, 小さい
		[SMA1・2・3・4・5]の今回と前回の差が[プラス・マイナス]で前回と前々回の差が[プラス・マイナス]	SMA1, プラス, マイナス / SMA1, マイナス, プラス
	指数平滑移動平均	[EMA1・2・3・4・5]が[EMA1・2・3・4・5]を[上抜け・下抜け]	EMA1, EMA2, 上抜け / EMA1, EMA2, 下抜け
		[EMA1・2・3・4・5]が[EMA1・2・3・4・5]より[大きい・小さい]	EMA1, EMA2, 大きい / EMA1, EMA2, 小さい
		終値が[EMA1・2・3・4・5]を[上抜け・下抜け]	EMA1, 上抜け / EMA1, 下抜け
		終値が[EMA1・2・3・4・5]より[大きい・小さい]	EMA1, 大きい / EMA1, 小さい
		[EMA1・2・3・4・5]の今回と前回の差が前回と前々回の差より[大きい・小さい]	EMA1, 大きい / EMA1, 小さい
		[EMA1・2・3・4・5]の今回と前回の差が[プラス・マイナス]で前回と前々回の差が[プラス・マイナス]	EMA1, プラス, マイナス / EMA1, マイナス, プラス
一目均衡表	[転換・基準・遅行・先行1・先行2]が[転換・基準・遅行・先行1・先行2]を「上抜け・下抜け」	転換, 基準, 上抜け / 転換, 基準, 下抜け	
	[転換・基準・遅行・先行1・先行2]が[転換・基準・遅行・先行1・先行2]より[大きい・小さい]	転換, 基準, 大きい / 転換, 基準, 小さい	
	終値が[転換・基準・先行1・先行2]を[上抜け・下抜け]	転換, 上抜け / 転換, 下抜け	
	終値が[転換・基準・先行1・先行2]より[大きい・小さい]	転換, 大きい / 転換, 小さい	
	終値が雲を[上抜け・下抜け]	上抜け / 下抜け	
	終値が雲より[大きい・小さい]	大きい / 小さい	
	遅行スパンが株価を[上抜け・下抜け]	上抜け / 下抜け	
	遅行スパンが株価より[大きい・小さい]	大きい / 小さい	
ボリンジャーバンド	終値が[+標準偏差3・+標準偏差2・+標準偏差1・SMA・-標準偏差1・-標準偏差2・-標準偏差3]を[上抜け・下抜け]	-標準偏差2, 下抜け / +標準偏差2, 上抜け	
	終値が[+標準偏差3・+標準偏差2・+標準偏差1・SMA・-標準偏差1・-標準偏差2・-標準偏差3]より[大きい・小さい]	-標準偏差2, 小さい / +標準偏差2, 大きい	
	[標準偏差3・標準偏差2・標準偏差1]のバンド幅が[N]より[大きい・小さい]	標準偏差2, 10, 大きい / 標準偏差2, 10, 小さい	
エンベロープ	終値が[+乖離率3・+乖離率2・+乖離率1・SMA・-乖離率1・-乖離率2・-乖離率3]を[上抜け・下抜け]	-乖離率2, 下抜け / +乖離率2, 上抜け	
	終値が[+乖離率3・+乖離率2・+乖離率1・SMA・-乖離率1・-乖離率2・-乖離率3]より[大きい・小さい]	-乖離率2, 小さい / +乖離率2, 大きい	
パラボリック	陽転 / 陰転	陽転 / 陰転	
	終値がSARより[大きい・小さい]	大きい / 小さい	
回帰トレンド	終値が[+標準誤差3・+標準誤差2・+標準誤差1・回帰トレンド・-標準誤差1・-標準誤差2・-標準誤差3]を[上抜け・下抜け]	-標準誤差2, 下抜け / +標準誤差2, 上抜け	
	終値が「+標準誤差3・+標準誤差2・+標準誤差1・回帰トレンド・-標準誤差1・-標準誤差2・-標準誤差3」より[大きい・小さい]	-標準誤差2, 小さい / +標準誤差2, 大きい	

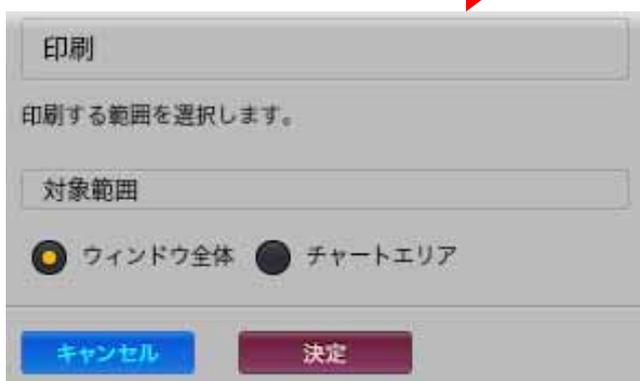
## 16-2 追加チャート一覧1 (初期設定値)

チャート	設定項目	初期値	
		買い条件	売り条件
移動平均乖離率	[移動平均乖離率1・2・3]が[N]%を[上抜け・下抜け]	移動平均乖離率1、-5、下抜け	移動平均乖離率1、5、上抜け
	[移動平均乖離率1・2・3]が[N]%[以上・以下]	移動平均乖離率1、-5、以下	移動平均乖離率1、5、以上
RSI	RSIが[N]%[以上・以下]	30、以下	70、以上
ストキャスティクス	%Kが%Dを[上抜け・下抜け]	上抜け	下抜け
	%Dが[N]%[以上・以下]	30、以下	70、以上
スロー ストキャスティクス	%Dが%SDを[上抜け・下抜け]	上抜け	下抜け
	%SDが[N]%[以上・以下]	30、以下	70、以上
サイコロジカル ライン	サイコロジカルが[N]%[以上・以下]	30、以下	70、以上
MACD	MACDがシグナルを[上抜け・下抜け]	上抜け	下抜け
	MACDがシグナル[以上・以下]	以上	以下
	[MACD・シグナル]が[N]「以上・以下」	MACD、10、以下	MACD、10、以上
	OSCIが[M]「以上・以下」	-5、以下	5、以上
	OSCIの今回と前回の差が前回と前々回の差より[大きい・小さい]	大きい	小さい
	OSCIの今回と前回の差が[プラス・マイナス]で前回と前々回の差が[プラス・マイナス]	プラス、マイナス	マイナス、プラス
	OSCIの今回と前回の差が[N]「以上・以下」	10、以上	-10、以下
RCI	[RCI1・2・3]が[RCI1・2・3]を[上抜け・下抜け]	RCI1、RCI2、上抜け	RCI1、RCI2、下抜け
	RCI1が[N]%[以上・以下]	RCI1、-80、以下	RCI1、80、以上
	RCI2が[N]%[以上・以下]	RCI2、-80、以下	RCI2、80、以上
	RCI3が[N]%[以上・以下]	RCI3、-80、以下	RCI3、80、以上
ボリュームレシオ	[ボリュームレシオ1・2]が[ボリュームレシオ1・2]を[上抜け・下抜け]	ボリュームレシオ1、ボリュームレシオ2、上抜け	ボリュームレシオ1、ボリュームレシオ2、下抜け
DMI	[+DI・-DI・ADX・ADXR]が[+DI・-DI・ADX・ADXR]を[上抜け・下抜け]	+DI、-DI、上抜け	+DI、-DI、下抜け
	[+DI・-DI・ADX・ADXR]が[+DI・-DI・ADX・ADXR][以上・以下]	+DI、-DI、以上	+DI、-DI、以下
	[+DI・-DI・ADX・ADXR]が[N][以上・以下]	ADX、10、以下	ADX、50、以上
	[ADX・ADXR]の今回と前回の差が前回と前々回の差より[大きい・小さい]	ADX、大きい	ADX、小さい
	[ADX・ADXR]の今回と前回の差が[プラス・マイナス]で前回と前々回の差が[プラス・マイナス]	ADX、プラス、マイナス	ADX、マイナス、プラス
	[ADX・ADXR]の今回と前回の差が[N][以上・以下]	ADX、5、以上	ADX、-5、以下
強弱レシオ	[Aレシオ・Bレシオ]が[Aレシオ・Bレシオ]を[上抜け・下抜け]	Bレシオ、Aレシオ、上抜け	Bレシオ、Aレシオ、下抜け
モメンタム	モメンタムが[N]を[上抜け・下抜け]	0、上抜け	0、下抜け
ROC	ROCが[N]を[上抜け・下抜け]	100、上抜け	100、下抜け

## 印刷について

画面右上の  を押すと印刷画面を表示します。

詳細リアルチャートの印刷はご利用の環境に依存します。ご利用の環境によっては正しく印刷されないことがあります。



対象範囲の「ウィンドウ全体（全画面）」または「チャートエリア（チャートのみ）」を選択して「決定」を押すと印刷できます。

ウィンドウ全体



チャートエリア

